

令和6年4月開始  
地域医療コース 第9期生

# 看護師特定行為研修 募集要項

二次募集



公立大学法人和歌山県立医科大学

【指定研修機関番号:1730001】

〒641-8510  
和歌山市紀三井寺811-1  
TEL 073-447-2300(内線3276)  
FAX 073-441-0769

## 1. 特定行為研修における理念・目的・目標

### 理念

特定行為研修の教育理念は、医療に関する地域の多様なニーズに柔軟に対応し、地域医療の質の向上の貢献に寄与することにある。高邁な倫理観を持ち、かつ高度な看護実践能力を持つ看護師を育成する。

### 目的

地域医療及び高度医療現場において、チーム医療の要となり安全で質の高い特定行為を提供する看護師を育成する。

### 目標

特定行為を実施する際に基礎となる知識として、臨床推論する能力、倫理的な判断力、多職種と協働して問題解決する能力を習得するとともに、特定行為を安全に実践するための能力を養う。

## 2. 研修概要

本学が実施する特定行為研修では、共通科目と区分別科目 7 区分、領域別パッケージ 1 領域を開講している。区分別科目は、本学が実施している1～7の特定行為区分を選択して受講することができる。

### 1) 研修内容と時間数

研修は、全ての特定行為の基礎となる知識・技術を学ぶ「共通科目」と、選択制の「区分別科目」で構成している。

本学では、「共通科目」は放送大学大学院に別途入学し、講義・演習・筆記試験をe-learningで個別履修する。また実習および客観的臨床能力試験(OSCE)は本学において集合研修で実施する。

「区分別科目」は講義・筆記試験をe-learningで個別履修し、本学独自カリキュラムによる演習・客観的臨床能力試験(OSCE)を集合研修で履修した後、受講者が勤務する医療機関あるいは受講者の勤務先と連携している医療機関で臨地実習を受ける。臨地実習は各区分の行為ごとに5症例以上の経験が必要である。

#### (1) 共通科目研修

共通科目 ( )内は放送大学の科目名 *放送大学科目では統合しているもの	時間数
臨床病態生理学* (「統合臨床病態生理学・疾病概論'19」)	31
疾病・臨床病態概論* (「統合臨床病態生理学・疾病概論'19」)	40.2
臨床薬理学 (「臨床薬理学特論'17」)	45.0
医療安全学/特定行為実践(「統合医療安全・特定行為実践特論'19」)	48.3
臨床推論 (「臨床推論'16」、演習部分は「特定行為共通科目統合演習'17」)	45.1

フィジカルアセスメント (「フィジカルアセスメント特論'16」、演習部分は「特定行為共通科目統合演習'17」)	49.7
演習(「特定行為共通科目統合演習'17」)	時間数は 各科目に含む
合計時間	259.3

## (2) 区分別科目研修

区分別科目は、下記 1~7 の区分から選択して受講できる。

	特定行為区分・特定行為	時間数
1	呼吸器(気道確保に係るもの)関連 経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調節	9 +実習症例5例 以上
2	呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連 気管カニューレの交換	8 +実習症例5例 以上
3	栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理)関連 中心静脈カテーテルの抜去	7 +実習症例5例 以上
4	栄養に係るカテーテル管理(末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理) 関連 末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入	9 +実習症例5例 以上
5	創傷管理関連 褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去 創傷に対する陰圧閉鎖療法	36.5 +実習症例各行 為5例以上
6	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整 脱水症状に対する輸液による補正	16 +実習症例各行 為5例以上
7	血糖コントロールに係る薬剤投与関連 インスリンの投与量の調整	16 +実習症例5例 以上

## (3) 領域別パッケージ

1	在宅慢性期領域パッケージ 気管カニューレの交換 胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換 褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去 脱水症状に対する輸液による補正	61 +実習症例各行 為5症例以上
---	---	-------------------------

区分別科目のスクーリング期間は、区分によって約3~8日間である。

スクーリング時期は令和7年4月中旬以降を予定している。令和7年2~3月頃に各区分の開催日程を受講者に通知する。

※ パッケージ研修のカスタマイズについて

在宅・慢性期領域パッケージに含む行為のうち、本学が特定行為区分として開講している行為については、受講者の希望で受講内容をカスタマイズし、特定行為区分を修了することも認めている。

在宅・慢性期領域パッケージ受講者の、受講内容カスタマイズについて

受講必須の特定行為	追加受講する行為	
気管カニューレの交換		
胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換		
褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去	創傷に対する陰圧閉鎖療法	特定行為区分:創傷管理関連 修了となる
脱水症状に対する輸液による補正	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整	特定行為区分:栄養及び水分 管理に係る薬剤投与関連 修了となる

2) 研修期間

18か月(令和6年4月1日～令和7年9月30日)

共通科目:令和6年4月1日～令和7年3月

区分別科目:令和7年4月～9月

3) 研修場所

公立大学法人和歌山県立医科大学 紀三井寺キャンパス

実習協力施設(原則として受講者の勤務施設または連携施設)

4) 研修修了要件

下記の要件を満たし、本学の特定行為研修管理委員会における最終の修了判定をもって研修修了となる。

- (1) 共通科目をすべて履修し、筆記試験及び実習の観察評価において合格すること
- (2) 共通科目を修了後、選択した区分別科目やパッケージをすべて履修し、筆記試験、実技試験及び実習の観察評価において合格すること

不合格の場合の対応

放送大学で1学期中に履修できなかった科目は、2学期に再度科目申請し、受講料を納付のうえ履修できる。本学で行う共通科目の実習および区分別科目の筆記試験・OSCEについては、再試験は1回のみ行う。

5) 履修科目の一部免除について

過去に放送大学大学院に在籍し、共通科目で必要な科目を履修済みの場合は、状況に応じて時間数を免除する。

他の指定研修機関で特定行為研修を修了している者については、共通科目の受講を免除する(「第8期編入者募集について」を参照)。また、これまでに修了している区分によっては、領域別パッケージの一部

の受講を免除する。

## 6) 研修スケジュール(予定)

研修に関するおおまかなスケジュールは以下のとおりである。各スケジュールの詳細は、受講者に追って連絡する。

予定期間	登校(スクーリング)の有無	内容
令和6年1月～3月		放送大学入学手続き・科目申請等確認
令和6年4月	○	開講式・オリエンテーション
令和6年4月～令和7年2月 (放送大学の1学期・2学期の期間)		共通科目 講義・演習・試験 e-learning
令和7年1月～2月 計7日間程度	○	共通科目 演習・実習(観察評価)
令和7年3月～7月頃 各区分約1～3か月程度の視聴期間を設定する。区分ごとの視聴期間は令和7年2月以降に通知する		区分別科目 講義 e-learning・筆記試験
令和7年4月～7月頃 各区分約3日～6日間程度 各区分ごとのスケジュール詳細は令和7年2月以降に順次通知する	○	区分別科目 演習・OSCE
令和7年4月～8月末頃 区分ごとの演習・OSCEなどを終えた区分から順次自施設で実習を開始する		区分別科目 実習(自施設)
令和7年9月初旬		修了判定
令和7年9月下旬	○	修了式

## 2. 応募要項

### 1) 受講要件

受講申請にあたっては、次に定める要件を全て満たしていることとする。

- (1) 日本国内における看護師免許を有していること
- (2) 正看護師の免許取得後、申請時点で通算5年以上の実務経験を有すること(県内外・医療施設等の制限なし)
- (3) 所属施設の施設長ならびに看護部門長からの推薦状を添付できること  
\* 出願者本人が施設長の場合、出願前に看護キャリア開発センターまでご相談ください。
- (4) 受講開始後に、実習協力を得る関連医療機関の代表者から、実習受け入れに係る承諾を得ていること
- (5) 本学が定める1年6か月の研修課程を、連続して受講できること

(6) 選択区分「栄養に係るカテーテル管理(末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理)関連」については、受講修了後、自施設において継続して実務経験を積めること

(7) 「血糖コントロールに係る薬剤投与関連」については、以下のいずれかの認定を受けていることを出願資格とする

- ・日本看護協会が認定する「糖尿病看護認定看護師」
- ・日本糖尿病療養指導士認定機構が認定する「日本糖尿病療養指導士」
- ・日本糖尿病教育・看護学会「糖尿病重症化予防(フットケア)研修」修了者

## 2) 募集人数

各科目の募集人数は、下記のとおり。

区分別研修は、受講者数2名以上で開講を決定する。

科目名	募集人数
共通科目	5名まで
呼吸器(気道確保に係るもの)関連	追加募集なし
呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連	追加募集なし
栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理)関連	4名
栄養に係るカテーテル管理(末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理)関連	2名
創傷管理関連	1名
血糖コントロールに係る薬剤投与関連	追加募集なし
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	6名
在宅・慢性期領域パッケージ	2名

## 3) 出願期間

令和6年1月15日(月)～1月25日(木) **必着**

## 4) 出願提出書類

以下に示す提出書類について、記載上の注意点をよく確認のうえ郵送すること。

申請書類に不備や虚偽の申請があった場合は、審査の対象外となる場合がある。

手書き記入する際は、消せないボールペンで丁寧に記載すること。

なお、提出された書類は返却しない。

提出書類		記載上の注意点
様式1	受講申請書	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 署名欄は必ず自筆で記載すること</li> </ul>
様式2	履歴書	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ <u>必ずA4用紙2枚組(片面印刷)で提出</u>すること(ホチキス留めは不要)</li> <li>➤ 内容は、正確に記載すること</li> <li>➤ 虚偽の記載をおこなった場合は、受講決定を取り消すことがある</li> <li>➤ 記載するメールアドレスは、PCなど書類のダウンロードや印刷が可能な端末でも使用できるものを記載すること</li> <li>➤ 学歴欄には、高等学校卒業以降の学歴を記載すること(高等学校の卒業を含むこと)</li> </ul>
様式3	志望理由書	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 研修修了後の自身の活動について、考えているビジョンを具体的に記載すること</li> </ul>
様式4	受講推薦書	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 施設長ならびに看護部門長それぞれ1通ずつ推薦書を提出すること</li> <li>➤ 研修受講に関する支援と、修了後の活用に関するビジョンを具体的に記載すること</li> </ul>
様式5	放送大学受講に関する確認書	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 研修受講前に放送大学において指定科目の単位を習得している場合は、成績・単位修得証明書を発行のうえ応募書類に添付すること</li> </ul> <p>「成績・単位修得証明書」の発行方法は、放送大学ホームページを参照のこと (<a href="https://www.ouj.ac.jp/about/certificate/">https://www.ouj.ac.jp/about/certificate/</a>)</p>
添付	可否結果通知用封筒	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 長形3号、宛先を明記し、<u>返信用切手434円(簡易書留料金350円+普通郵便料金84円分)を貼付</u>する</li> </ul>
	看護師免許証の写し	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ <u>A4サイズ</u>に縮小・白黒コピー</li> <li>➤ 受講資格に関わる資格認定証は、必ず添付すること</li> </ul>
	認定看護師認定証もしくは専門看護師認定証、他受講資格に係る認定証の写し	
	提出書類準備チェックリスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 封入まえにチェックし、漏れがないことを確認のうえ、<u>チェックリスト自体も同封</u>すること</li> </ul>

## 5) 書類提出方法

上記4)の提出書類を、下記担当あてに「簡易書留」で郵送し、提出する。

所定様式は看護キャリア開発センターホームページよりダウンロードが可能である。

封筒の表に「**特定行為研修受講申請書類在中**」と**朱書き**で明記すること。

### 【宛先】

〒641-8510 和歌山市紀三井寺811-1

公立大学法人和歌山県立医科大学看護キャリア開発センター 特定行為研修担当 宛

## 6) 受講審査料

10,000円(消費税および地方消費税含む)

### 【振込期間】

令和6年1月15日(月)～1月25日(木)まで **注)1月26日(金)に入金確認がとれるように**

振込依頼人は以下のとおり入力すること。

振込依頼人の入力方法を間違えないよう、指定の振込先に納付すること。

振込に係る手数料は受講希望者の負担とし、原則として入金後の返金はしない。

トク) 氏名 (姓と名の間空白は不要です)

※氏名の前にカタカナで **トク)** を忘れず入力!!

【例】 医大 花子さんの場合 → トク) イダイハナコ

### 【受講審査料納付先】

銀行名: 紀陽銀行

支店名: 紀三井寺支店

種別: 普通

口座番号: 0627219

名義人: こうりつだいがくほうじんわかやまけんりついかだいがくりじちようみやしたかずひさ 公立大学法人和歌山県立医科大学 理事長 宮下 和久

## 7) 選考方法と日時

書類審査および面接

面接日程: 2月2日(金)

詳細な時間・場所については、応募者に後日連絡する

※ 受講審査料の納入確認後、面接に関する連絡事項(日時・場所など)を、履歴書に記載のメールアドレス宛に通知する。

※ 書類提出時点で受講を希望する区分の応募者数が、開催可能人数に達していない場合、個別に通知する。

## 8) 選考結果発表

令和5年2月末ごろ、合格者に通知書を郵送する。

※ 電話やFAXでの合否問い合わせには応じない。

## 9) 放送大学の受講手続きについて

放送大学の受講手続き(入学手続き、受講科目申請、受講料の納付など)は受講生個人で手続きをおこなうこと。合格者は、必ず放送大学が規定している期日までに各自申し込みをする。

期日までに受講手続きができなかった場合は、受講取消となる。



### 10) 個人情報の取り扱いについて

応募書類など提出書類は、選考試験にのみ使用する。

合格者の提出書類については、受講中の事務手続き等に使用することがある。

個人情報の管理については、「公立大学法人和歌山県立医科大学個人情報の保護に関する法律施行規程」「公立大学法人和歌山県立医科大学個人情報保護安全管理措置要綱」に基づいて行う。

## 3. 研修受講料

研修に係る受講料は以下の通りである。

科目名称	合計(税込) 材料費・演習費を含む
共通科目	380,000円 別途放送大学に入学金・受講費用の納付が必要となる
呼吸器(気道確保に係るもの)関連	77,000円
呼吸器(長期呼吸療養法に係るもの)関連	55,000円
栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理)関連	49,000円
栄養に係るカテーテル管理(末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理)関連	100,000円
創傷管理関連	150,000円
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	80,000円
血糖コントロールに係る薬剤投与関連	103,000円
在宅・慢性期領域パッケージ ※オプション追加により増額	295,000円～

※ 筆記試験、OSCEなどの評価で再試験が必要となった場合、別途費用がかかる。

※ 受講にあたっての交通費、宿泊費、通信費などの諸経費は受講生各自の負担となる。

※ 実習を自施設以外で実施する場合、協力施設への実習費が別途必要となる(1日2,500円 税込)

※ 在宅・慢性期領域パッケージにオプションを追加受講する場合、受講料は以下の通りである。

オプションの特定行為	受講料
創傷管理関連(創傷に対する陰圧閉鎖療法)	80,000円
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 (持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整)	48,000円

## 1) 受講料の納付

受講に係る費用は、3期に分けて納付する。それぞれの納付時期に、受講者に請求書を送付する。

納付時期		金額
第1期	令和6年4月1日(月)～4月10日(水)	190,000円
第2期	令和6年10月1日(火)～10月10日(木)	190,000円
第3期	令和7年4月1日(火)～4月10日(木)	受講する特定行為区分の受講料

### ◆ 補助金について

本学の特定行為研修を受講される方で、条件に合致する場合、下記の補助金・給付金を受けることができます。

○ 和歌山県 特定行為研修の受講支援制度

詳細は、和歌山県医務課ホームページ「看護師の特定行為研修制度について」をご確認ください。

○ 厚生労働省 一般教育訓練給付金制度

一般教育訓練給付金制度については、厚生労働省のホームページでご確認いただき、最寄りのハローワークにお問合せください。

本学の指定講座に関する明示書は、看護キャリア開発センターホームページに掲載しています。

## 研修施設へのアクセス

大阪(天王寺)から和歌山駅まで JR 阪和線(快速)で約 1 時間

JR きのくに線 紀三井寺駅下車 徒歩約 7 分

<JR 和歌山駅からのアクセス>

🚆 電車

JR 紀三井寺駅西口(きのくに線)より徒歩約 7 分

🚌 バス

JR 和歌山駅より和歌山バスで約 30 分

医大病院行き「医大病院」下車すぐ

和歌山マリーナシティ・海南駅前・海南藤白浜行き「医大病院前」下車、徒歩 3 分

🚗 タクシー

JR 和歌山駅よりタクシーで約 20 分

<南海和歌山市駅からのアクセス>

🚌 バス

南海和歌山市駅(南海本線)より和歌山バスで約 30 分

医大病院行き「医大病院」下車すぐ

和歌山マリーナシティ・海南駅前・海南藤白浜方面行き「医大病院前」下車、徒歩 3 分

🚗 タクシー

南海和歌山市駅よりタクシーで約 30 分



## 研修施設案内図

\* 研修で使う施設を□で示しています



### 【問い合わせ先】

〒641-8510

和歌山市紀三井寺811-1

公立大学法人和歌山県立医科大学看護キャリア開発センター 特定行為研修担当 宛

TEL:073-441-0768(直通)

FAX:073-441-0769

メールアドレス:kango-c@wakayama-med.ac.jp